

# 31万人元気都市実現に向けて!!

Vol.2 令和2年1月発行

「2020東京オリンピック男子マラソン」  
中村匠吾選手日本代表内定!!  
(四日市市出身)

スポーツ環境を  
充実させよう!!

元気都市  
四日市へ!!

ワクワクする  
新図書館を!!

四日市の  
渋滞解消!!

安心・安全な  
通学路を!!

市民目線で、中高生や若い世代にも興味を持ってもらえるように、  
分かりやすい質疑応答を心がけて  
質問しました。  
一日一生。その日が人生すべての  
一日だと思って全力で走り続けます!

四日市  
市議会

市民eyes  
伊藤昌志  
議会レポート  
会派通信  
8月定例会議会



10月8日四日市市役所を表敬訪問  
されました!

中央緑地の新体育館!!  
(令和2年5月完成予定)

## 道路環境の整備

国道1号や23号の渋滞を避けるために生活道路を高速で通行する車両が見受けられます。長年、懸念されている富田・羽津地区のある地域を事例に、現状確認、改善内容、今後の展開について質問しました。

**Q** 富田浜地区や白須賀地区の通り抜け車両に対する対策は?

朝夕の通勤時間帯、桑名方面から鈴鹿方面に向かうため、国道1号や23号を避けて、富田地区では富田浜、羽津地区では白須賀地域の狭い生活道路などを多くの車両が通行しています。これに対する具体的な対策を教えてください。

**A** 現状、国道1号は一日1万台の容量に対し2万7千台、23号線は4万8千台の容量に対し5万4千台の交通量であり、抜本的な解決として、道路の交通容量を増やすことが課題となっています。



そこで国では北勢バイパスの整備が進められていますが、暫定開放状態であり、川越町から采女町までが開通すると、国道

1号では7割、23号では2割、渋滞損失時間が削減できると試算(国土交通省)されています。

また県では、渋滞解消し円滑な道路交通の確保のため、国土交通省、三重県警、三重県、中日本高速道路株式会社、三重県トラック協会、三重県バス協会、三重県タクシー協会が構成した「三重県道路交通渋滞対策推進協議会」が設置されており、相互に連携しながら渋滞対策に取り組んでおります。

例えば一つの方策として、信号の時間調整を行って交通状況を最適化することを行ったことを行っています。それにより朝夕の通勤時間帯において、渋滞時間の3分から6分程度の縮小が図られたりしています。

そして市では、生活道路において、時間による通行規制やポストコーンによる速度抑制などを実施しています。またそのエリアが制限速度30kmとなる「ゾーン30」の指定により根本的に生活道路での速度抑制を促し安全な道路環境を作ることに努めています。現在、市で最初のゾーン30の指定となった東富田をはじめ、白須賀地区でも自治会要望があり新たなゾーン30を計画しています。

今後、「生活に身近な道路整備事業」によるポストコーンの設置や路肩のカラー化、通学路においては通学路「四日市市通学路交通安全プログラム」を活用していきます。必要に応じて市に相談して頂ければと思います。

23号の渋滞を避け多くの車が  
行きかう狭い生活道路。



渋滞を避けた車が脇道からも  
次々と出てきます。

羽津地区(白須賀)



**意見** 鳥の目、虫の目ですっかり対策を講じて頂いていることがよくわかりました。市民にとっては国道、県道、市道関係ありませんので、今後も市民目線で質問し確認していきますので宜しくお願い致します。

**所感** 議員になってから北勢バイパスの必要性をより感じています。工事に関係する地域の皆さんの声はしっかりと受け止めながら、早期に完成するよう働きかけていきます。

道路部局はとも忙しそうですが、現場、現物ですっかり現状把握し活動していただいているように見受けられます。市民の声にもよく反応していただけます。私も気になると、地域の声の間こえたら優先順位をつけて迅速に対応していきます。

公共施設の充実

新図書館は、市民アンケートをとってから15年経過してもまだ完成していません。その間、現在の図書館は時代に合わせて改善してきているのか、そして新図書館はどうなるのかを質問しました。



▲現在の四日市市立図書館(昭和48年建設)

Q 新図書館が長年検討され続けていることにより、市民の皆さんから「新図書館って今どんな状況になっているの」という声をお聞きします。改めて、今現在の新図書館構想について進捗状況を教えてください。そしてまた、明確なコンセプトがないではありませんか。

A 新図書館はこれまで四日市市の総合計画や中心市街地活性化推進検討会議で挙げられ検討され続けています。現総合計画に位置付けた図書館の整備と中心市街地活性化については、一体的に検討し相乗効果を高めようというところで、市役所庁舎東側広場での図書館設置においてどのような効果があるかということと基本計画を策定しています。現在、「市役所庁舎東側広場」を含めて「近鉄四日市駅の直結エリア」「JR四日市駅の直結エリア」の3箇所を候補地として、立地にかかる可能性の調査を行なっています。協議にまだしばらく時間がかかりますが、出来る限り早期に方針を示せるようにと考えています。

1、新図書館を中心とした複合的な中心市街地の拠点施設を目指している  
2、図書館機能のほか、多世代の交流できる機能  
3、情報発信、コミュニケーションのできる機能  
4、幅広い市民が気軽に立ち寄れて憩いの空間として活用できる機能

また、ICTにも対応した日常の居場所ともなる全世代対象とした滞在型図書館をコンセプトとしています。本を楽しむとともに調べ物、生涯学習が出来て、子供から高齢者まで幅広い方々が交流できる図書館を目指しています。

現在は立地場所の選定を行なっているところですが、いずれの場所でもコンセプトに変わりはなく、これからの時代にふさわしい図書館を整備したいと考えています。

意見

全世代対象ですし、当然ユニバーサルデザインの図書館が完成するのだと思いますが、掲げられたコンセプト、これって、近くの鈴鹿市さんや桑名市さんで掲げても変わらないようなものではないでしょうか。現在も図書館はあるのです。コンセプトが明確で、その目的を達成すれば、新図書館でも、現在の図書館の改善でもいいですよね? 「四日市の図書館はこういうのにするんだ!」という明確なコンセプトがあればいいのではないかと考えています。そこで、他市のこんな事例を紹介させていただきます。



大和市立図書館 シリウス

140億円かけて作った複合施設はとも立派です。民間のカフェが入り、そこで本が読める。そして、滞在ができる沢山の無料交流スペースがあります。そこには中高生から年



配の方まで多世代の方がいらっしやました。また有料のラウンジもありました(2時間100円)。ICTも進めており、ミ、環境も整っていました。

しかし、注目いただきたいのはその立派さではありません!大和市長は歯科医でいらっしやいますが、その市長の掲げるコンセプトがはつきりしているところに注目していただきたいと思えます。市長は3つの柱を掲げていらっしやるようです。

一つ目は3階にある健康都市大学。毎日開催、受講自由に市民講師。健康寿命を延ばすという思い



でこの三階があるそうです。受講者だけでなく、どなたでも受講模様が覗ける

年間通して毎日開催している健康都市大学

ような作りになっています。また体組成計はじめ血管年齢が測定できるなど、健康チェックできる機器が設置されており、市民の皆様が順番に利用されました。

屋内こどもひろば



▲子供達の成長につながる遊び道具がいっぱい  
◀大人の読書スペースとして落ち着いた空間を確保

二つ目は、子育て支援です。有料でヨーロッパの遊具メーカーのものが導入されているのですが、子供達の教育目的で、子供達の脳トレになる遊具を入れているということでした。

そして三つ目は、5階の「調べて学ぶ図書館」です。閲覧スペースとつながっている読書室があり、地域資料コーナーがあります。この階には表向きの目的とは別に、もう一つの隠れた目的があるそうです。この階は、焦げ茶色をベースにした落ち着いた雰囲気、多くの年配の男性が本を読んでいらっしやいました。三

つ目はですね、「退職後の高齢男性の居場所作り」という目的があると  
いうことで、こういった作りにし  
た、ということなんです。

厚生労働省の統計からも、健康寿命  
の延伸のために、退職後の男性が外  
出しないということが問題視されて  
います。これはもう30年ほど前、旧  
労働省の頃から、トータルヘルスプ  
ロモーションプランがあり、「働く  
人の健康づくりを推進しているけれ  
ども、実は製造業の方々を中心に、  
退職後10年以内にお亡くなりになる  
方が非常に多い！寿命が非常に短  
い！そんなことでは駄目だろう！」  
ということで、改善しようとしてき  
た課題です。

大和市長がそれをご存知であるかど  
うかはわかりませんが、これら3つ  
の明確な目的を持って、この図書館  
を運営されています。

ですから四日市も、もちろん新図書  
館を作っていくと思うのですが、私  
の一提言として、「コンセプトを明  
確に！」そして「四日市だからこ  
うだ！」といったものにするべきでは  
ないでしょうか。今の少子高齢化に  
合わせなくてもいいんです。産業都  
市の四日市なのか、観光都市にして  
いくのか、市長の思いをぶつけてい  
ただいて、しっかりしたコンセプト  
のある図書館を作っていたきたい  
と思います。

そして現図書館についても提言させ  
ていただきます。

市民アンケートをとってからもう15

年も経過しています。当時高校一年  
生だった学生はもう30歳です。現図  
書館も時代に合わせ改善し続けてい  
かなければならないのではないで  
しょうか。  
例えばこんな事例があります。

**海老名市立中央図書館**



会派で視察に行かせていただきました。  
こちらは、旧建物をリニューアル工  
事して新図書館にし、民間委託  
で運営されています。一階が高い天  
井でガラス張りになっています。民  
間のカフェが入り、カフェのお客さ  
んが読書できるようになっています。  
り、物販もしています。一方、我が  
四日市の現在の図書館ですが、海老  
名市と作られた年代もよく似ている  
からか、同じように高い天井にガラ  
ス張りという作りになっています。  
地下にあった書庫は改装して閲覧ス  
ペースとしました。その分、書庫を

他の場所に持って行きました。  
子供達や親子でのんびり本を読める  
空間は、昔プラネタリウムだった頃  
のスクリーンがあった場所になりま  
す。そのスクリーンの曲面を生かし  
てこの空間を作られました。

建物はそのままで、そんなに  
大きくない建物です。外にベランダ  
を確保して子供達が遊べる場所を作  
りました。

他にもベランダが沢山ありまして、  
季節的にも過ごしやすい頃でしたの  
で多くの方が本を読んでいらっし  
やいました。

ソフト面では、一階の出入口付近  
にリサイクル市と称して処分前の本  
を展示し、市民の皆さんが持ち帰  
ることができる仕組みを作りました。  
ちなみに四日市では年に一回、リサ  
イクルイベントが開催されていま  
す。

この海老名市の図書館も、大和市同  
様にはっきりとしたコンセプト、考  
え方があるなと感じました。視察時  
にご説明いただいた民間委託会社の  
職員の方が、このファイルを手  
にとって、自信を持ってご説明されて  
いました。



「ここはこ  
ういう目的  
を持って運  
営してい  
ます」と  
いうよう  
なことを  
いくつも  
お話しさ  
れていま  
した。

図書館を利用する人、図書館で働く  
人、そして普段図書館を利用しない  
人にも納得いくような三方よしの図  
書館運営をしていっていただきたい  
い！そして新図書館についてもそ  
ういったものにしていただきたいと強  
く願っております。

**所感**  
15年議論されてきて新図書館が  
できていない理由の一つとし  
て、場所選定が第一にあり、コンセ  
プトがはっきりしない、ということ  
があるのではないだろうか。



**地下の書庫を改装して  
閲覧スペースを拡大!!**



**プラネタリウム跡を活かした  
素敵な読書  
スペース**



**ベランダも有効活用**



現図書館においても、時代に合わせた  
改善はされてきておらず、新図書館も  
非常に不安を感じるどころです。  
11月議会では、新年度予算、計画案  
が出てきます。現図書館において何  
一つ変化が見られなければ、新図書  
館が魂の入ったものにはならないで  
しょう。予算を沢山使わなくても改  
善提案はいくらでもあります。現図  
書館と新図書館。注視続けたいと  
思います。

スポーツ環境の整備

各スポーツを愛好する市民にとつて、公平なスポーツ環境の提供が出来るように感じます。公平なスポーツ環境の提供、施設利用の推進を行っていただきたく質問しました。

本市における各スポーツ愛好者数について、主要スポーツを中心に教えてください。協会登録者数などから示してください。ちなみに陸上競技場は市内に1箇所しかなく、国体工事期間中の現在、フットボール場を一部利用している現状です。

まずはじめに、市の公共スポーツ施設ですが32施設あります。主には、体育館4施設、野球・ソフトボール場7施設、テニスコート5施設、サッカー・ラグビーなどのフットボール場3施設、陸上競技場1施設です。



▲中央緑地新体育館のスタジアムホール

競技別登録者数は、45団体3万6千人が加盟している四日市市スポーツ協会登録者数を見ますと、水泳8千人、陸上競技3千800人、サッカー3千400人のほか、1千人以上の団体は10団体あります。

地上でのスポーツは、陸上競技が最も多く、登録していない愛好者を含めるとさらに陸上競技愛好者は多くなると思われます。そんななか、陸上競技場は国体工事中で2シーズン使えない。お隣の鈴鹿市さんの競技場は大会出場するにも人数制限がかけられています。四日市で陸上競技をしている子供達が名張や伊勢に行かなければ走る場所がないのです。これは来年度まで続きます。

そんななか、陸上トラックのあるフットボール場Aフィールドをサッカーと併用で利用できる状況になっています。これは現在の各スポーツ愛好者数からみますと、非常に不公平だと感じます。四日市の全てのスポーツ愛好者を考えた上で、陸上競技愛好者にも公平な施設提供を行っていただけることを願います。

フットボール場Aフィールドは、「水曜以外の平日夜間」が陸上競技場として利用できるようになっていきます。しかし国体工事に入る前、陸上競技場の「平日夜の利用は水曜日が最も多く」、陸上競技場の利用状況など現状把握を全くせずに工事期間に入ったことが容易に想像できます。現状からの改善が今年度中、もしくは来年度には行われるのか注目したいと思います。

小規模校を中心に中学校で課外クラブが年々廃部になっていきます。特に運動部ですが、廃部にしたクラブの選択理由、廃部後の対応について伺いたいのですが、その前に、部活動に対する市としての考え方を伺いたいと思います。四日市市の部活動ガイドラインを見ると、表紙をめくった1ページ目に「はじめに」という欄があります。そこには3段落目まで教員の働き方について記載されており、4段落目にきてやっと子供達のことを書いてあります。働く人の安全衛生管理は当然ですが、それはどこの職場においてもそうですよね。働き方改革が叫ばれている教員の世界でもまず第一に子供のことが先に来るべきではないでしょうか。では他市はどうかというと、ひとつ事例を挙げます。静岡市です。同市が特に素晴らしいというわけではなく、私が普通にインターネットで検索して分かりやすいなと思ったホームページだったの

の注目したいと思います。

で選びました。同市の部活動ガイドラインでは、四日市の「はじめに」に相当するページを見てみると、まず最初の1段落目、2段落目には子供達のことを書いてあり、3段落目に教員の働き方についてしっかり考えようという記載、そしてまた4段落目、5段落目には子供達のことになっていきます。当たり前ですがね。

学校教育の一環として位置づけられている部活動ですから、子供達のことを第一に考えていただきたいと思っています。

もちろん部活動は学校教育の一環として位置づけられております。過去5年間に7校で14の運動部が廃部、廃部予定です。廃部にする種目の選択理由は、「入部希望者の減少」「顧問の教職員の専門性」や「学校としてのバランス」「地域の少年団スポーツ活動との関連性等」があります。

まずはガイドラインをしっかりと作らなければならないのではないのでしょうか。「はじめに」で教員のことを先に3段落目まで書いてある。これは本末転倒だと思つてのです。さきほど静岡市さんを紹介しましたが、同市ではホームページにガイドラインが掲載されていて意見も聴取しています。そしてそれぞれの部活動スポーツにおいて、市として子供達をどのように育てていくか、競技力を伸ばすということ

で選びました。同市の部活動ガイドラインでは、四日市の「はじめに」

に相当するページを見てみると、まず最初の1段落目、2段落目には子供達のことを書いてあり、3段落目に教員の働き方についてしっかり考えようという記載、そしてまた4段落目、5段落目には子供達のことになっていきます。当たり前ですがね。

学校教育の一環として位置づけられている部活動ですから、子供達のことを第一に考えていただきたいと思っています。

もちろん部活動は学校教育の一環として位置づけられております。過去5年間に7校で14の運動部が廃部、廃部予定です。廃部にする種目の選択理由は、「入部希望者の減少」「顧問の教職員の専門性」や「学校としてのバランス」「地域の少年団スポーツ活動との関連性等」があります。

まずはガイドラインをしっかりと作らなければならないのではないのでしょうか。「はじめに」で教員のことを先に3段落目まで書いてある。これは本末転倒だと思つてのです。さきほど静岡市さんを紹介しましたが、同市ではホームページにガイドラインが掲載されていて意見も聴取しています。そしてそれぞれの部活動スポーツにおいて、市として子供達をどのように育てていくか、競技力を伸ばすということ

現状、部活動の廃部については明確な基準はなく、各学校任せになっていくようです。まずはガイドラインが改善されること、第一歩ではないかと思つています。今後、ガイドラインが改善されていくか確認していきたいと思つています。

四日市市議会 市民eyes 四日市市議訪町1-5 Tel059-354-8257 Fax059-354-8304